

伊藤ひろし 救急車の増車

「人の命を大切にする」まちづくりへ！！ ようやく、当選スタートからの副議長（2年間）を終え、「ヒラ議員」に戻り、議会質問の再開です。

ピーポー、ピーポー……、救急車のサイレン音。

習志野市は、現在、国が示す整備（配備）指針の基準では、「1台」不足の状態です。選挙公約にも掲げた【救急車の増車】を議会で取り上げました。

現在、習志野市の救急車台数は常時「5台」体制。20年前と同じです。

一方、出動件数は「2倍」に増え「8000件」を超えました。

「139回。」これは、昨年度「5台」の救急車が全出動状態となった回数です。年々、出動件数・全出動状態とも、増加傾向にあります。

人口は、20年前より「2万2千人」の増加。高齢者も「2万5千人」増えています。今後10年間で75歳以上が、更に「6000人」の増加を予測しています。

近年、八千代市は中央署を二台体制へ。我孫子・市川市・柏市も増車し、現地「到着時間短縮」の実績をあげています。

宮本市長は、「動向を見ながら、検証・検討する」と、前向きな答弁でした。

お伝えしたいこと◆公務員数は増やさず、職員の採用計画を訴えました